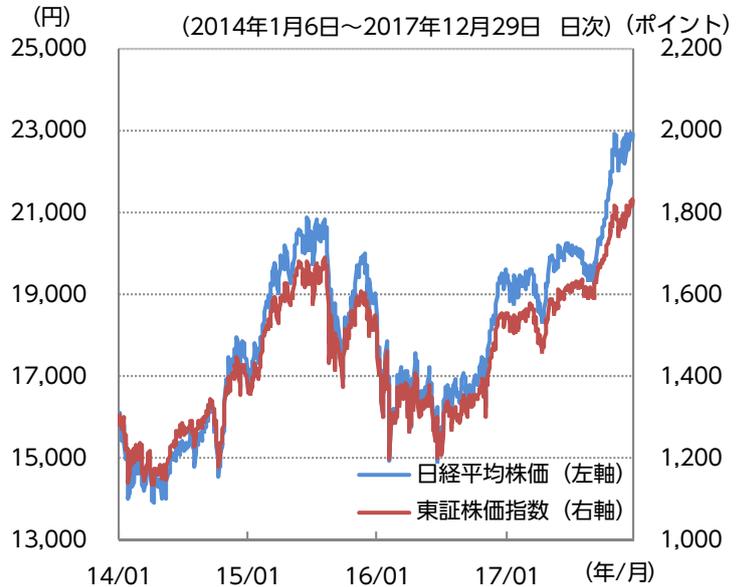




(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

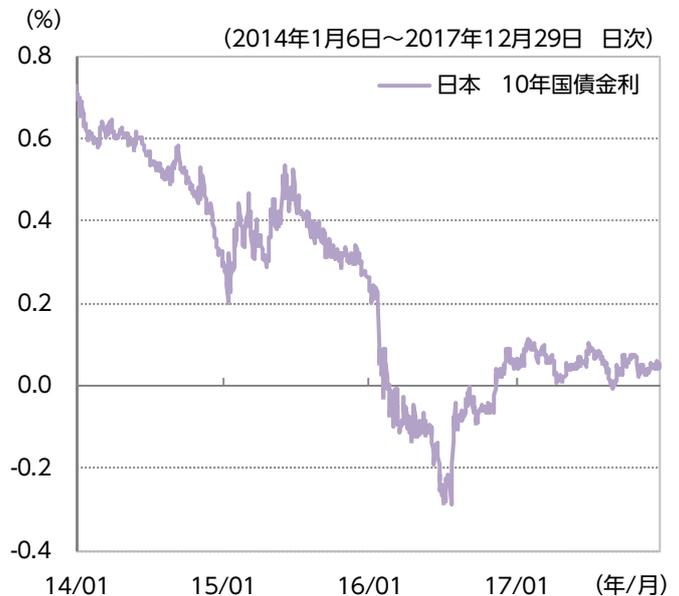
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。週初は、日銀が上場投資信託（ETF）を買い入れるとの観測が広がったことを受けて上昇し、およそ26年ぶりの高値を付けました。週末は、年末で売買が細る中、年末年始の連休を控え利益確定売りが優勢となり下落となりました。（週末引け値：22,764.94円）
- 週間では、日経平均株価は0.60%の下落、東証株価指数0.63%の下落でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。日銀が実施した国債買い入れオペ（公開市場操作）や、米長期国債の動向等を受け、週を通じて一進一退の展開となりました。（週末引け値：0.048%）
- 週間では、横ばいとなりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。週初は、新たな取引材料が見当たらないことに加え、年末で市場参加者が少ない中、買いがやや優勢となりました。週末は、特段の材料も無く薄商いとなる中、幅広い業種で売られたことから、小幅に下落となりました。（週末引け値：24,719.22ドル）
- 週間ではNYダウは0.14%の下落となりました。

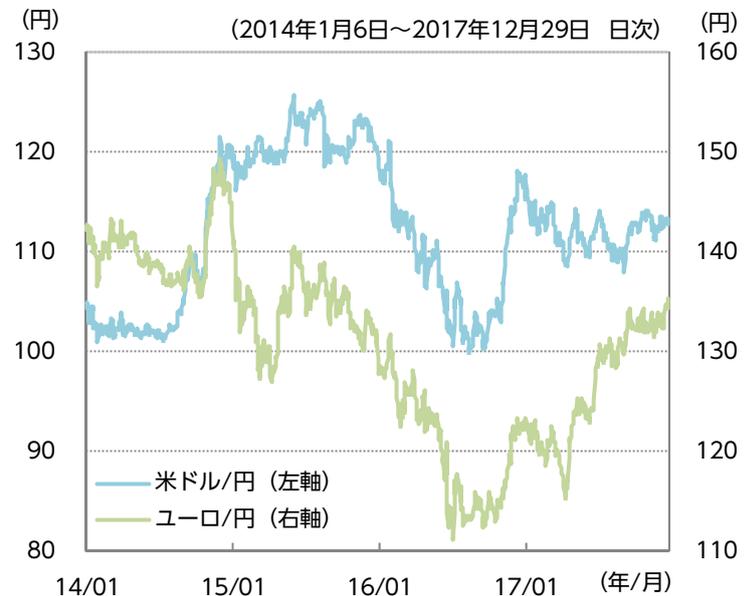


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。週を通じて、持ち高整理の円買い・ドル売りが概ね優勢となったものの、新規の取引材料に乏しく、小幅な値動きとなりました。週末も、年末とあって積極的な取引は手控えられ、値動きは乏しいものとなりました。（週末引け値：112円65銭～75銭）
- 週間では米ドル/円は0.53%の円高、ユーロ/円は0.68%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。